



学校だより

シカゴ日本人学校
4月号
平成20年 3月10日発行
Tel:(847)590-5700
Fax:(847)590-9759
http://www.chicagojs.com
E-mail:teacher@chicagojs.com

学校長あいさつ

保護者の皆様には、平成19年度の全日校学校運営に対していろいろご支援ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。今年度の運動会や文化祭は大きな感動を生み出すことができました。また、日々の学校生活も児童生徒全員が元気に明るく送れたことが、何よりも大きな成果でした。

平成20年度も、児童生徒がより充実した学校生活を送れますよう、教職員一同心を一つにして取り組んでいきます。保護者の皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

入学式・入園式のご案内

平成20年度小・中学部合同入学式ならびにすみれ幼稚園入園式を下記のとおり行います。

小・中学部合同入学式

- ・期日 4月9日(水)
- ・受付(玄関ロビー) 8:50~9:05
(受付後、新入生は教室へ、保護者は体育館へ)

在校生、職員、保護者着席	9:10
来賓着席	9:15
新入生入場	9:20
入学式	9:20~10:10
新入生退場	10:10
学級活動	10:15~
写真撮影	中1(11:20) 小1(11:30)

小1保護者の皆様はPTAより説明がございますので、新入生退場後、図書室へ移動をお願いいたします。そのあとに、学級活動・写真撮影にご参加ください。

中1保護者の皆様は新入生退場後、教室に移動をお願いいたします。そのあとに、学級活動・写真撮影にご参加ください。

- ・バス発車 12:10
入学式当日、新入生は全員ピックアップでお願いします。(9日はピックアップは必要ありません。10日からは必要です。小1は16日(水)までピックアップとなっております。)
その他の学年はピックアップを朝9:05までにカード入れに入れてください。

すみれ幼稚園入園式



- ・期日 4月9日(水)
- ・受付(玄関ロビー) 10:00~10:15
(受付後、新入生・保護者は教室へ)

職員、保護者着席	10:35
来賓着席	10:40
新入園児入場	10:45
入園式	10:45~11:10
新入生退場	11:10
組活動	11:15~
写真撮影	11:45

12:10にバスが発車します。お帰りは、バス発車後をお願いいたします。

お知らせ

今月帰国する派遣教員が決定しましたのでお知らせいたします。なお、平成20年度の派遣教員は5名の予定です。

帰国派遣教員

校長	中村 泰章	(大阪市)
教諭	吉田 敦	(群馬県)
教諭	飯島 学	(埼玉県)
教諭	坪内 聡	(東京都)
教諭	山田 泰嗣	(大阪府)

文部科学省は、在外教育施設に対し、国内の国・公立の義務教育諸学校の教員の中から、各都道府県教育委員会が選考して推薦する教員についてさらに選考を行い、適任者を決定し、研修を行った上で、文部科学大臣の委嘱により原則として2~4年間在外教育施設に派遣します。

着任式・始業式時程

4月8日(火)

新学年の教室で待機	8:35	~	9:00
体育館へ入場	9:00	~	9:05
着任式	9:05	~	9:30
始業式	9:35	~	10:00
編入生紹介	10:00	~	10:10
学級活動	10:15	~	11:15
バス集会	11:20	~	
バス発車	12:10		

ピックアップカードは朝9:05までにカード入れに入れてください。

編入生は8:30までに登校し、保護者の方と一緒に図書室で待機願います。

平成20年度のクラス編成について

平成20年度のクラス編成につきましては、日本等からの編入状況により3月中旬までに決定する予定ですが、大きな人数の変動がない限り、全学年ともそれぞれ1クラスを予定しております。

学期と登校日数

平成20年度の授業日が決まりましたのでお知らせいたします。なお、行事予定表は4月に配布いたします。

第1学期	4月8日(火)~	7月17日(木)	71日
第2学期	8月21日(木)~	12月19日(金)	82日
第3学期	1月5日(月)~	3月12日(木)	47日

合計200日

お知らせ

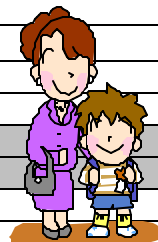
文集「わかば」が完成しました。原稿が載っているお子さんには、今まで通り一冊無料配布となります。

文集希望者には、有料(一冊\$10)で販売できる部数が若干ございます。事務室でパーソナルチェック払いにて販売致します。

平成20年4月より、全日校に幼稚園が開園いたします。場所はE podです。それとともない、小学部の教室が移動します。小1,2,3年がD pod、小4,5,6年がB pod、中学部は従来通りA podです。詳しくは、別紙教室配置図をご参照ください。

4月行事予定(青字・主な幼稚園行事)

日	曜	予	定
1	火	年度始休業	
2	水	新入・編入面接	
3	木	新入・編入面接	
4	金	新入・編入面接	
5	土		
6	日		
7	月	年度始休業終了	
8	火	着任式・始業式	
9	水	入学式・入園式	
10	木		小1ピックアップ開始
11	金	中学部全体保護者会	
12	土		
13	日		
14	月	避難訓練	
15	火	クラス写真撮影	
16	水		
17	木	P T A 総会・P T A 執行部会	バス避難訓練
18	金	中3授業参観・懇談会	小学部委員会 小学部授業参観・懇談会(~ 5 / 3)
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		
23	水	中2授業参観・懇談会	
24	木	トルネード避難訓練	
25	金	中1授業参観・懇談会	
26	土		
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		



避難訓練には幼稚園も参加します。

楽しい春休みを

子ども達が楽しみにしている春休みが始まります。ご家庭におかれましては休み中の生活について、様々な計画をお立てのことと思います。子どもにとっては開放感からどうしても生活のリズムが乱れがちになります。春休みを有意義に過ごすため、一人ひとりがめあてをはっきりもって過ごすことが大切です。ご家庭で十分話し合ってください。

休み中子ども達に責任を持たせ、意図的計画的に清掃や家事の手伝いをさせることは、子ども達の豊かな心を育む上で、大変有効な手だての一つとなると思います。

異動のお知らせ

音楽専科の中村美音先生が、3月をもって退職することになりました。4月からの後任には、永坂 緑先生が着任予定です。どうかよろしくお願いたします。

平成19年度 帰国派遣教員より

帰国を前にして

校長 中村 泰章

平成17年の4月、文部科学省より私達5名が派遣されましたがこの度任期満了し、3月中旬に帰国致します。この間、総領事館を始め、JCCC、学校運営委員会、地域関係諸機関、保護者の皆様方には大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。3年間、どうも有り難うございました。

私事ですが、帰国のための荷造りをしていると、いろいろの思いがこみ上げてきます。日本から持ってきた物とアメリカで手に入れた物を、一つの段ボールに入れてゆく手が、しばし止まります。以前、帰国したある児童が、お別れの挨拶の中で全員に向かい、「できたらこの学校を、日本に持って帰りたいです。」と言った言葉が思い出されます。この箱の中にシカゴ日本人学校を詰め込めたら...、という気持ちは帰国教員にも当てはまると思います。本当に良い学校ですね。

私達教員から見れば教育は思想であり、夢を売る営みです。もちろん国策に沿わない偏った思想や悪夢は困りますが、教師それぞれに自分なりの理想の教育と言うものがあります。この仕事を選んだ時からそれが芽生える場合もあります。その理想を持ち続け、これまで継承されてきた学校の伝統や地域、保護者の皆様の願いとすり合わせ、更に教員間の共通理解を経て、教室の中から如何に発信するかに頭を悩ませます。子ども達には思い切り夢を抱かせます。個々の教員の手法こそ異なりますが、これらの働きの結果、学校が何を言いたいのか、どういう教育方針なのかを保護者に伝わってゆきます。(充分伝わらなかった部分があればお詫び致しますが)総体としてのそれらを伝えるのは、私の職務でもあります。そしてこのシカゴに着任したことは、私達がこれまで持ち合わせてきた教育観に大きな刺激となり、変化を与えました。これは3月に帰国する教員だけに当てはまることではありません。

これからも、伝統を持った日本人学校である本校教育推進に、教職員一丸となって尽力致しますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、どうかよろしくお願い致します。

教育の原点

教諭 吉田 敦

日本人学校派遣が決まった時、何か特別な仕事に関わることへの期待で胸を一杯にしていたように思います。しかし、3年間を経て思うことは、教科の指導や校務一般をはじめとして、学校の教育の現場でやってあたり前のことや基本的な事柄をしっかりとこなすことこそが、いかに大切かということを実感しました。

1年目、元気で何事にも意欲的な2年生。学習・運動・遊び何でも次から次へとやり遂げるすばらしい子

ども達でした。毎日、子ども達から大いに刺激を受けた、楽しい1年間でした。特に文化祭の劇「ピノキオ」では、自分の役を全力で演じ、セリフや歌など、一人ひとりが個性を存分に発揮でき、長い教師経験の私にとっても初めての文化祭で、非常に思い出に残るものとなりました。

2年目は、かわいらしい1年生との対面。とても素直で何でも吸収する子ども達を目の前にして、真っ白い紙に清書する時のような緊張感と、「やるぞ!」という強い思いを持ってスタートしたことを覚えています。何でも全力で一生涯懸命に活動する子ども達がうれしく、普段無愛想な私も、教室に入ると自然に顔が笑顔になる1年でした。

3年目は、小学部最高学年の6年生。4月当初はまだまだあどけなさも残っていましたが、一つひとつの行事を6年生がリードしていく中で、次第に最高学年という意識が高まり、たくましく成長していく姿は、心から嬉しく感慨深いものがありました。卒業式での立派な姿は、まさにそれを象徴するものでした。

海外の日本人学校で学んでいる子らは、ものすごい勢いで語学をはじめとする異文化を吸収しており、自然のうちに、国際人としての素質を養っている金の卵だと思います。『この金の卵を大切にしなければ!』と、毎日必死でしたが、それでも双葉の子らの明るい声と目の輝きにエネルギーをもらい、そして、保護者と双葉会関係者の皆様に支えていただきながら、今日を迎えることができました。

このように私のシカゴ日本人学校での3年間は、5年、いや10年間に値するほどの豊富な経験と多くの喜びに満ちた日々でした。この学校を旅立つのは、とても寂しいことですが、5年後、10年後、またいつかどこかで成長した生徒たちと再会することを楽しみにしています。

最後に、3年間いろいろな面でご協力いただきお世話になった保護者ならびに双葉会・学校関係者の方々、学校を活力あるものにし続けている教職員の皆さんに心よりお礼を申し上げ、最後のあいさつとさせていただきますと思います。本当にありがとうございました。

「背番号12」を背負い

教諭 飯島 学

私は、新しい場所に行くとき必ず行くことがあります。その地のサッカー場でセンターサークルに寝転がり、空を眺めることです。シカゴ日本人学校の校庭に初めて出たとき、まずはじめにしたことは、この儀式でした。芝生のやわらかさに包まれながら見上げる空は、今までに見たことのない広さと青さを持っていたことを鮮明に覚えています。

青空の下、シカゴの子どもたちと過ごした3年間に、今、試合終了のホイッスルが吹かれようとしています。子どもたちをサッカー選手に例えるなら、私たち担任の教師はチームのコーチでしょうか。もちろん、監督は子どもたちをずっと見守っていただいている保護者の皆さんです。子どもたちが広いフィールドで目一杯駆け回り、

のびのびとプレイできるのは回りの大人のサポートがあってこそです。日本人学校に通う子どもが幸せであることは私が言うまでもありません。そして、私たち教師も保護者の皆さんのやさしさと子どもたちの真っ直ぐな眼差しに幸せを感じ充実した日々を送ることができました。

私は、3月で帰国となり、子どもたちのコーチという大役からはずれますが、これからは一人のサポーターとして、シカゴ日本人学校で学んでいる・学んだ子どもたちを応援していきます。

Vamos! Futabakai!!

さらなる飛躍

教諭 坪内 聡

2005年4月の着任当時のあいさつに、私の好きな言葉「原点」について述べさせていただきました。今までの人生の中で、数々の「原点」を作ってきました。楽しかったこと、辛かったこと、悲しかったことなど様々です。

ここシカゴ日本人学校においても、同様に、たくさんの「原点」を築くことが出来ました。右も左もわからなかった1年目。とにかくがむしゃらに、当時の5年生のみんなと学び、遊び、全員の「良さ」を探し続けた1年目。精神的にも大人に近づきつつある5年生の心の支えになれるよう、真正面から向き合い、語り明かした日々。

2年目は、本校で初めての算数TT。2学期から担当になった米社。担任学級を持たない悔しさをバネに、全力で算数・米社の授業に臨みました。たくさん子ども達と関わることが励みになり、毎時間を子ども達との勝負と考え、「絶対に一人ももれなく、算数大好き、米社大好きにしてみせる」との思いで、取り組んだ日々。

そして、最後の3年目。元気いっぱい3年生との出会い。一人一人の個性がイキイキとし、小さな体全部でぶつかってくる子ども達。みんなが、「世界の第一線で活躍する人材」に、また、「どんな人にも手を差しのべる心の優しさを持つ人格者」に育てて欲しいとの思いで、過ごした日々。20年後、30年後のみんなの姿が本当に楽しみです。

全ての出来事が、私にとって新しい「原点」となりました。これらを胸に、今後もさらなる飛躍をとげるためにも、日々精進してまいります。

そして、私を支えてくださったたくさんの保護者の方々に感謝申し上げ、皆さまのますますのご健闘とご活躍をお祈りいたします。3年間、本当にありがとうございました。

最後に、恩師からいただいた私の好きな言葉を引用させていただきます。

「もっとも難しい勝利 それは、自分自身に勝つこと！」

以上

「三年間ありがとうございました。」

教諭 山田 泰嗣

大平原にはぐくまれ 豊かに育つ緑の芽……。平成17年4月、目を輝かせて、とっても大きく元気な声で歌われるシカゴ日本人学校の校歌と出会いました。何事にも一生懸命取り組むことができる子ども達。この学校で生活する喜びを肌で感じた瞬間でした。それからの3年間。思えばあっという間の出来事でした。今、目を閉じると様々なシーンがよみがえってきます。緊張のあまり声が裏返った入学式、新たな発見をしてとび上がった実験授業、肩をがっくり落として「どうしよう。」とため息をついていた定期テスト、汗だくになってゴールを走り抜けたランニング、応援団が見せた運動会での悔し涙、指先まで集中した文化祭での演技、「おはようございます」の挨拶、バスでの手を振る姿、卒業式……。数え上げたらきりがありません。みんなの生き生きとした姿、その一つひとつが私の宝物です。

毎日が生徒指導に追われ、放課後と土日のほとんどは部活動に明け暮れ、それを当たり前感じていた日本での生活でしたが、ここシカゴでの仕事や生活は全然違いました。授業や行事、そして日々の生活に関する準備がたっぶりできました。中学部の生徒ひとり一人をしつかりと見ることもできました。本当に充実した学校生活を送ることができました。休みには資料を集めるためにシカゴの図書館や博物館を訪れたり、現地校の先生と出会うことでアメリカの教育のシステムを学んだり、あらためていろいろなことを知ることができました。もちろん余暇を楽しむこともできました。自分自身が野球チームに入って野球をしたり、大自然を体感したり、観光をしたり、スポーツや芸術を鑑賞したりと今まで狭かった視野をひろげることもできました。アメリカで暮らしてみても日本にはない素晴らしい面をたくさん感じる事ができたのと同時に日本の良さを再発見することもできました。まさに、自分を成長させる事ができた日々でした。

こうしていろいろな経験をさせてもらった私もこの3月で大阪に帰ります。とっても寂しいですが、シカゴで経験したことを生かして、今度出会う新しい仲間とともにシカゴ日本人学校に負けないような学校づくりを目指したいと思います。児童・生徒の皆さんも、「世界の学校に」というスローガンのもと、これからもがんばって下さい。遠いところからですが応援しています。さようなら、ありがとう。

最後になりましたが、保護者の皆様、先生、OFFICE、カストディアンの皆様、学校関係者の皆様、いつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。

< 編集後記 >

帰国される先生方、シカゴ日本人学校のために、ご尽力いただき、本当にありがとうございました。平成20年度は、幼稚園の開園、創立30周年と記念の年でもあります。先生方の足跡を受け継ぎ、日々の授業を充実させ、さらなる発展を目指していきます。 (K)